



白瀧神社
場所：川内町 5-3288



桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区
場所：本町一丁目、二丁目、天神町の一部



織物参考館“紫”
場所：東 4-2-24



絹撚記念館 (旧模範工場桐生生糸会資会社事務所棟)
場所：巴町 2-1832-13



後藤織物
場所：東 1-11-35



桐生織物記念館 (桐生織物会館旧館)
場所：永楽町 6-6

桐生市内の構成文化財



構成文化財一覧

中之条町

- 富沢家住宅
- 中之条町六合赤岩重伝建地区

甘楽町

- 旧小幡組製糸レンガ造り倉庫
- 甘楽町の養蚕・製糸・織物資料
- 甘楽社小幡組由来碑

片品村

- 永井流養蚕伝習所実習棟
- 永井いと像

桐生市

- 白瀧神社
- 絹撚記念館 (旧模範工場桐生生糸会資会社事務所棟)
- 桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区
- 後藤織物
- 織物参考館“紫”
- 桐生織物記念館 (桐生織物会館旧館)

日本遺産
かかあ天下ーぐんまの絹物語ー

桐生の日本遺産

日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」は、群馬県内 4 市町村（桐生市、甘楽町、中之条町、片品村）に点在する 13 件の絹産業関連資産で構成される。そのうち桐生には、桐生新町伝統的建造物群保存地区、後藤織物、織物参考館“紫”、絹撚記念館、桐生織物記念館、白瀧神社の 6 資産があり、県内繊維産業における重要な拠点であることが広く認められている。

「日本遺産 (Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度。地域に点在する有形・無形の文化財を一定のストーリーの下にパッケージ化し、「面」として発信することで地域活性化につなげようと平成 27 年にスタートした。「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」は初年度に認定された 18 件のうちのひとつで、令和 2 年までに全国で 104 件が認定されている。

「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」は、古くから盛んだった群馬の絹産業に従事した女性の活躍を軸に、関連する文化財がまとめられている。養蚕・製糸・織物で家計を支えた女性たちは、近代になると、製糸工場などで「女工」として産業に欠かせない働き手となった。上州（群馬）名物「かかあ天下」は、強くたくましいイメージが先行し広く知られるが、本来は内に外に活躍する女性像の代名詞であり、群馬の女性は時代をリードするパイオニア的存在であったと言える。

日本遺産の構成資産を含め、桐生には繊維に関連する文化財が数多く残り、産業に由来する独自のまちなみや文化を形成する。まちの発展に寄与した繊維産業に従事し、側面的にまちの成り立ちを支えた「かかあ」たちの貢献は計り知れない。

現在、桐生市では桐生市制施行 100 周年・水道創設 90 周年記念事業として、「日本遺産めぐりスタンプラリー」を開催しています（令和 3 年 9 月 30 日まで）。県内全域を巡るコースと桐生市内を巡るコースの 2 コースが用意されています。群馬県公式アプリ「きぬめぐり」をダウンロードして参加ください。



- 日本遺産ポータルサイト / <http://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>
- かかあ天下公式ウェブサイト / <https://worldheritage.pref.gunma.jp/JH/>
- 桐生市日本遺産紹介ページ / <https://www.city.kiryu.lg.jp/kankou/bunkazai/1018172/index.html>

参考：桐生市 HP・桐生市観光パンフレット